

和し 鍛え 学ぶ

本日、4月9日（水）令和7年度入学式と始業式を行いました。今年度の末野原中学校は、1年生7クラス、2年生6クラス、3年生7クラス、特別支援学級3クラスの計23クラス、全校647名でスタートします。末野原中学校は昭和60年の開校から今年で41年目になります。諸先輩方が築いてくださった良き伝統をさらに発展させていけるように、教育活動を進めてまいりたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、今年度もどうぞよろしくお願い致します。



令和7年度 入学式・始業式

「校長式辞」

春の日差しを受けて、学校のソメイヨシノが校舎に柔かな彩（いろどり）を添えています。

本日、令和7年度の入学式及び始業式を挙げるにあたり、豊田市議会議員 窪谷文克様 兵藤慎也様をはじめ、地域の御来賓の皆様にご臨席を賜りました。高いところからではありますが、厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。今日から、大切なお子様を3年間、お預かりいたします。本校教職員一同、全力で頑張っていきますので、何卒、教育活動への温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

本校は、昭和60年に、豊田市立の19番目の学校として誕生し、今年で41年目を迎えました。今日から皆さんも歴史と伝統ある末野原中学校の一員です。中学生としての自覚をもち、学校生活に精一杯取り組んでください。

2年生、3年生の皆さん。先ほどの進級認定で、皆さんは正式に新しい学年に進級しました。進級に伴い、期待される役割も重くなります。先輩が築いてきた末中の伝統を、さらに発展させる役割を皆さんに期待しています。末中をしっかりと支えてください。よろしくお願いします。

さて、昨年度の入学式でもお話をしましたが、中学校の3年間は大変重要で、特別な意味をもつ3年間です。

18世紀のフランスの思想家ルソーは「人間は、一生の中で2度、この世に生まれる。1度目の誕生は、この世に生を受けた時。2度目の誕生は、子供から大人へと変わる、精神的自我が芽生える時期である」と言っています。中学生は、まさしく、子どもから大人へと変化する、人の一生における『第2の誕生』の時期に当たります。

皆さんがこの世に生を受けた「1度目の誕生」は、皆さんのお母さんが自分の命を懸けて、皆さんをこの世に送り出してくれました。では、これから、皆さんが迎えようとしている「2度目の誕生」は、だれが、それをしてくれるのでしょうか。それは、自分自身です。

より良い自分を生み出すためには努力が必要であり、日々の学びはもちろんのこと、様々な人とかかわりや、様々な体験、そして、時には、悩みや迷いといった経験でさえ、成長のための大切なヒントになります。そして、そんな多くの出会いや経験ができるのが、学校という場所であると思います。末野原中学校でいろんなことに挑戦し、自分自身を大いに成長させてください。

保護者の皆様、お子様が様々なことに取り組み、時に悩みながら乗り越えていく姿は、お子様が成長している過程と捉えていただき、寄り添い、見守り、時には励まししながら、どうか温かく支えていただきたいと思います。本校職員一同、保護者の皆様とともにお子様の貴重な3年間に関わらせていただけることを幸せに感じております。どうぞよろしくお願いいたします。

生徒の皆さん、さあ、今日から令和7年度の中学校生活が始まります。充実した学校生活になることを祈っています。以上で校長式辞といたします

令和7年4月9日

豊田市立末野原中学校長 平井千夏



今年度、69名の教職員で教育活動を進めてまいります（非常勤やその他の教職員もいますので写真に写っていない教職員もいます）生徒が明るく前向きに学校生活を送れるよう、全力で頑張っていきます。

今年度も学校ホームページやおたよりで教育活動の様子を紹介していきます。積極的な発信に努めてまいりますので、ぜひご覧ください。よろしくお願いいたします！